

医療ニーズ;安価なベッド柵カバー



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 看護部



「患者さんを傷つけないために ベッド柵をカバーしたい」

■看護部ホームページ
<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- 認知症の患者などは自分がなぜ入院しているのかわからないことがあるため、普段と違う環境からベッド柵を長時間たたくなど異常行動をきたすことがある。
- また、ナースコールの使い方が分からず、その代わりにベッドをたたいてよぶことがある。
- いずれもけがの原因になる。
- 柵をカバーしたり、けがをしないカバーを作る必要がある。

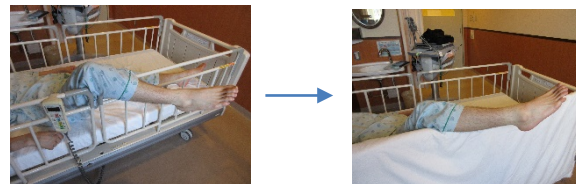
■現在の対応方法

- 柵をたたかないように患者に教育する。
- ベッドの柵にタオルでカバーを作る。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 65歳以上の高齢者の認知症患者数と有病率は、2012年は認知症患者数が462万人と、65歳以上の高齢者の7人に1人であったが、2025年には約700万人、5人に1人になると見込まれている。(出典 http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/html/gaiyou/s1_2_3.html)

【イメージ・参考例】安全性があり着脱可能な柵カバー



現状は布団等で代用しているが、機能的には不十分

機能アイデア例

- タオルでは安全性は不十分
- 着脱が容易なマットレス機能を備えた柵カバーが望ましい。

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp